

北海道聖化大会二十五年の歩み

高橋養二

一 前史

戦後の日本における「ウエスレアン・アルミニアン」の立場に立った聖化」の宣証を目的とした、個人参加による超教派の運動では、1974年に関東において始まった「中田重治に学ぶ会」を最初にあげなければなりません。

この会の会員名簿には、のちに日本聖化交友会（現・協力会）に参加した教職たちのお名前を多数確認することが出来ます。また、機関誌「源流」には、車田、米田、都田、安藤、森山、小島、畑野、朝比奈、長島、宇崎、野畑、小出、蔦田・・・といった、戦前から戦後にわたって聖化運動を指導され、今は亡き50名以上の先生方が、聖化について様々な角度から論じておられるのは、貴重です。

この運動は、日本における聖化運動の祖の一人、中田重治に学びつつ、「日本における聖潔運動を評価し、今日的意義を明らかにし、かつ推進する」ことを目的としたものでした。（同会規約第3条）。「中田重治に学ぶ会」は、以後16年間その活動を続けました。

1981年3月、関西において始まった「ジョン・ウエスレーに学ぶ会」は、その名称に「学ぶ会」とある通り、前記「中田重治に学ぶ会」からの影響を認めることが出来ますが、ホーリネスの宣証という積極的な目的が、最初から立てられていました（「標準的なホーリネスのメッセージを次世代に！」が最初に志をもって祈り始めた牧師達の願いでした）。そして、故長島幸雄先生がこの「J・Wに学ぶ会」の最初のリーダーとして立てられたことが、1985年の故本田弘慈先生を中心とした関東での「聖化交友会」の誕生につながってゆきました。（筆者は本田師から、「長島君からきよめをもっと語らなくてはならない、と強く言われた」と仰って、「そのことが日本聖化交友会呼びかけのきっかけとなった」ことを、日本縦断伝道の打合せのために伺った札幌市内のホテルで、同行のK牧師とともに、直接お聞きしています。）

二 札幌聖化大会委員会の誕生

1987年、本田先生は、札幌の牧師たちに「札幌聖化交友会」の発足を呼びかけなさいました。それを受けて、最初の牧師祈祷会が日本イエスキリスト教団美園教会（現・羊が丘教会）においてもたれました。この時の出席者（小田満、水川武志、宮谷泉、宮崎徹、高橋養二）が最初の呼びかけ人となって、1988年8月25日（木）北海道クリスチャン・センターにおいて、本田弘慈師をお迎えして、「札幌で聖化交友会を」と銘打った説明会が開催され、25名の教職が出席しました。ここで、札幌での「聖化大会」開催を決議し、次いで、札幌聖化大会委員会の設立を決めました。以来今日まで、委員会は、7, 8, 12月を除く毎月開催され、聖化大会開催の準備とともに、聖化の学びと交わりを重ねてきました。

三 札幌聖化大会開催

第I回大会は、1989年8月21日（月）、日本聖化交友会から送られた、本田弘慈、藤本栄造、岸田馨、の、三師を講師として開催されました。この最初の大会から、聖会とセミナーと言う今のスタイルが行われました。また、第2年目からは二日間の集会となり、開催時期も、5月が定着して、今日に至りました。又北海道各地から出席される教職が増えるにしたがって、昼食をともにした「教職・家族歓迎会（ウエルカム・テーブル）」がもたれるようになり、聖会の恵み、セミナーでの学び、そして教職の交わり、と、聖化大会の内容の充実を見るようになりました。また、集会のプログラムも、毎回立てられる信徒と教職の証し、青年グループや女性信徒による特別賛美が加わり、豊かなものになってきています。

四 会誌「ハギオス」の発行

第10回聖化大会を機に、「恵みと交わりの充実」のために、会報の発行が決まりました。名称は「ハギオス」とされ、内容は、大会のメッセージのほか、北海道のきよめ派教会の歴史、大会出席者の証し、信仰の質疑応答など、豊かなものになっています。

五 日本聖化交友会（JHA）との関係

札幌聖化大会委員会は当初からJHAのメンバーとして、全国九カ所の聖化大会との交流を持ってきました。JHAは、あらたに出版部門（旧・福音文書刊行会）と教

団部門の参加によって「日本聖化協力会」として、聖化の宣証の働きの一層の拡大と深化が進められてきました。

六 北海道聖化大会としての新しい出発

2007年6月札幌聖化大会は、北海道各地からの参加の実状にふさわしく、名称を「北海道聖化大会」として、「規約」を定め、新しい第一歩を踏み出しました。

次にこの規約を紹介して、願わくは主が規約に現わされたこの働きを祝福して下さいようにと祈ります。

七 北海道聖化大会委員会規約

第一条 本会の名称を「北海道聖化大会委員会」とする。

第二条 本会は、ウェスレアン・アルミニアン立場で、聖化の信仰と恵みを宣証することを目的とする。

第三条 本会は、目的を達成するために次の活動を行う。

①聖化大会の開催、委員会の開催、会報の発行、その他聖化の信仰の学びと相互の交わりを深める活動。

②日本聖化交友会への参加。

第四条 本会の活動のために、第二条、第三条の趣旨に賛同する教職から成る委員会を設ける。

①委員会は委員及び協力委員によって構成され、委員長、事務局長、書記、会計を各一名置く。

②委員長、事務局長、書記、会計の任期を三年とし、再任を妨げない。

③委員会に顧問をおくことができる。

④委員会は次のことを行う

1 活動の企画実行。

2 委員、協力委員及び顧問の選定。

3 その他の必要事項。

(附則) この規約は2007年6月1日より施行する。

八 北海道聖化大会 25 年の記録

年	聖化大会			おもな出来事
	回	日程	講師	
1988	・ 8/25 聖化交友会設立懇談会 (本田弘慈師)・札幌聖化大会委員会発足			
1989	1	8/21	本田弘慈師	I テサロニケ 4 : 3-7 ・ 藤本栄造師、岸田馨師が立証。
1990	2	5/22-23	本田弘慈師	コロサイ I : 24-29
1991	3	5/14-15	小林和夫師	マタイ 5 : 43-48、ガラ 2 : 19-20
1992	4	5/27-28	小林和夫師	ヨハネ 12 : 20-33、15 : I-16
1993	5	5/19-20	村上宣道師	詩 51 : 10-17、ピリピ I : 12-26 ・ 日本福音連盟札幌大会との併催。
1994	6	5/24-25	工藤弘雄師	ガラテヤ 5 : 16-26、イザヤ 6 : I-13 ・ 9、10、11 月の委員会における「学び会」を開始
1995	7	5/23-24	竿代忠一師	I ペテロ I : 13-21
1996	8	5/21-22	野田秀師	マタイ 23 : I-21、詩 73、ローマ 8 : 26-39
1997	9	5/20-21	松木祐三師	ルカ 5 : I-11、ヘブル 12 : 1-11、ガラ 5 : 16-26
1998	10	5/19-20	本田弘慈師 村上宣道師	I ペテロ I : 13-16 ・ 会報「ハギオス」第 1 号発行・教職・家族歓迎会(ウェルカム・テーブル)開始
1999	11	5/18-19	工藤弘雄師	マタイ 7 : 13-29
2000	12	5/23-24	千代崎秀夫師	マルコ I : 40-45
2001	13	5/16-17	藤本満師	イザヤ 63 : 8-19
2002	14	5/21-22	岸田馨師	I ペテロ I : 13-2 : I
2003	15	5/20-21	黒木安信師	使徒 7 : 51-60、11 : 19-26、ピリピ 3 : 8-16
2004	16	5/18-19	中島秀一師	I コリント 6 : 1-20、コロサイ 3 : 1-17、黙示 22 : 6-21
2005	17	5/17-18	竿代照夫師	ガラテヤ 2 : 15-21、5 : 16-26、6 : 11-16
2006	18	5/23-24	藤巻充師	創世記 2 : 15-17 4 : 1-16、50 : 20
2007	19	5/22-23	黒木安信師	詩 51 : 1-21、ヨハネ 7 : 37-39、マルコ 14 : 1-11 ・ 6 月、規約を定め北海道聖化大会と改称

2008	20	5/20-21	竿代 忠一 師	マタイ 22:34-40、ピ リピ 3:10-16、Ⅱテモ テ 4:1-8	・第1回北海道聖化大会開 催・ハギオス記念号発行
2009	21	5/19-20	飯塚 俊雄 師	使徒 1:1-89、ルカ 12: 49-50、イザヤ 6:1-8	
2010	22	5/18-19	本間 義信 師	ヨハネ 20:15-23、第 一コリント 12:1-10、 使徒 15:36-40	
2011	23	5/17-18	郷家 一二 三師	ルカ 19:1-28、ピリピ 2:1-11、使徒 10:1- 48	
2012	24	5/22-23	横田 武幸 師	ガラテヤ 5:16-25、ロ ーマ 8:26-30、使徒 1: 6-8	
2013	25	5/21-22	村上 宣道 師	第一ヨハネ 1:1-10、 コロサイ 1:24-29、第 一コリント 9:15-23	・25周年記念大会を10月 18日に開催、講師はアラ ン・カペーシ師

<引用聖句の記録が一部欠けています。文責=高橋>